

認定書

国住指第 2814-1 号
平成 24 年 3 月 19 日

新日本製鐵株式会社
代表取締役社長 宗岡 正二 様

国土交通大臣 前田 武志



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 37 条第二号の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
MSTL-0362
2. 認定をした構造方法等の名称
建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板
スーパーダイマ（広畑製鐵所）NSDC400
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

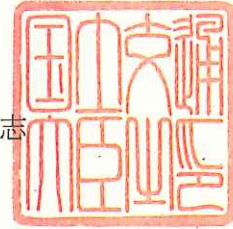
（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

指 定 書

国住指第 2814-2 号
平成 24 年 3 月 19 日

新日本製鐵株式会社
代表取締役社長 宗岡 正二 様

国土交通大臣 前田 武志



下記の建築基準法第 37 条第二号の国土交通大臣の認定を受けた鋼材等に係る許容応力度等の基準強度について、平成 12 年建設省告示第 2464 号第 1 第二号、第 2 第二号、第 3 第二号及び第 4 第二号の規定に基づき、下記の通り数値を指定する。

記

1. 認定番号

MSTL-0362

2. 認定をした構造方法等の名称

建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (広畑製鐵所) NSDC400

3. 指定する数値

(1) 許容応力度の基準強度 280 N/mm²

(2) 溶接部の許容応力度の
基準強度^{※1} 280 N/mm²

(3) 材料強度の基準強度 280 N/mm²

上記の数値の 1.1 倍以下とすることができる。

(4) 溶接部の材料強度の
基準強度^{※1} 280 N/mm²

上記の数値の 1.1 倍以下とすることができる。

※1 鋼材の厚さ 0.8mm 以上 2.3mm 以下に適用する。

(注意) この指定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造方法等の名称 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板
スーパーダイマ (広畑製鐵所) NSDC400

2. 建築材料の適用範囲

本建築材料は、約11%のアルミニウムと約3%のマグネシウムと約0.2%のシリコン及び亜鉛からなるめっき浴において溶融めっきを行った鋼板及び鋼帯である。
種類の記号は表1による。

表1 種類の記号

種類の記号
NSDC400

3. 建築材料の構成及び品質基準

3-1) 機械的性質

本建築材料の降伏点の上下限、降伏比、引張強さ及び伸びは表2による。

表2 降伏点の上下限、降伏比、引張強さ及び伸び

種類の記号	降伏点 (N/mm ²)		降伏比 (%)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)
	下限	上限			
NSDC400	295	400	90以下	400以上	18以上

(注1) 試験片は、JIS Z 2201に規定する5号試験片とする。

3-2) 化学成分

本建築材料の化学成分は表3による。

表3 化学成分 (%)

種類の記号	C	Si	Mn	P	S
NSDC400	0.40 以下	1.20 以下	1.70 以下	0.20 以下	0.04 以下

3-3) 溶接特性

本建築材料の炭素当量及び溶接割れ感受性組成は表4による。

表4 炭素当量、溶接割れ感受性組成

種類の記号	炭素当量 (%) (注1)	溶接割れ感受性組成 (%) (注2)
NSDC400	0.36以下	0.26以下

(注1) 炭素当量 C_{eq} を計算する式は以下のとおりとする。

$$C_{eq} = C + Mn/6 + Si/24 + Ni/40 + Cr/5 + Mo/4 + V/14$$

(注2) 溶接割れ感受性組成 P_{CM} を計算する式は以下のとおりとする。

$$P_{CM} = C + Mn/20 + Si/30 + Cu/20 + Ni/60 + Cr/20 + Mo/15 + V/10 + 5B$$

(注3) 炭素当量もしくは溶接割れ感受性組成のいずれかを満たすものとする。

(注4) 炭素当量及び溶接割れ感受性組成は板厚0.8mm以上に適用する。

3-4) 表面処理

本建築材料の表面処理の組成は表 5、表面処理の付着量は表 6による。

表5 表面処理の組成

めっき組成(%)			
Al	Mg	Si	Zn
10~12	2~4	0.1~0.3	残部

表6 表面処理の付着量(両面合計) 単位: g/m²

めっきの付着量 表示記号	3点平均 最小付着量	1点最小付着量
K06	60	51
K08	80	68
K10	100	85
K12	120	102
K14	140	119
K18	180	153
K20	200	170
K22	220	187
K25	250	213
K27	275	234
K35	350	298
K45	450	383

3-5) 外観

本建築材料は、構造耐力上有害な欠け、割れ、錆および付着物があつてはならない。

4. 建築材料の形状及び寸法

4-1) 建築材料の形状及び寸法

本建築材料の形状・寸法は表7による。

表7 形状・寸法

種類の記号	寸法	
NSDC400	板厚	0.4mm以上 2.3mm以下
	板幅	700mm以上 1700mm以下

(注1) 形状・寸法の許容差は、JIS G 3302-2010に規定するものとする。

(注2) 板厚については、3-4)表面処理の前のものとする。

4-2) 単位質量の基準値

本建築材料の単位質量(kg/m²)の基準値は7.85kg/mm²に板厚(mm)を乗じた値とする。

単位質量の基準値については、3-4)表面処理の前のものとする。

5. 建築材料の製造及び検査の体制

5-1) 製造工場の名称及び所在地

名称 新日本製鐵株式会社 広畑製鐵所
所在地 兵庫県姫路市広畑区富士町1

5-2) 製造工程及び検査工程

本建築材料の製造工程及び検査工程は図1に示す。

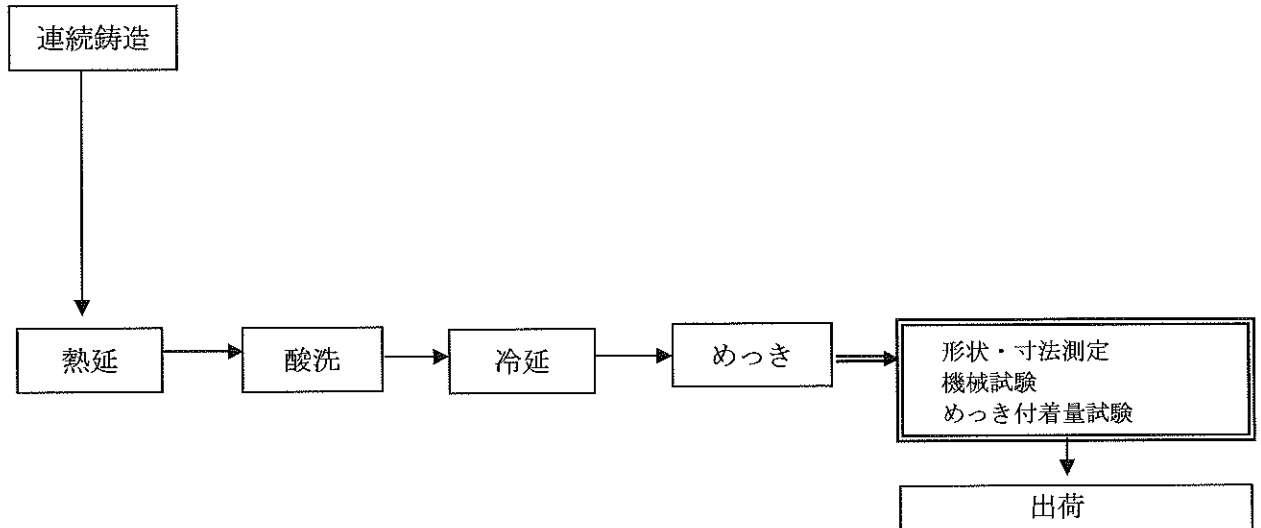


図1 製造工程及び検査工程

6. 品質管理体制

本建築材料の品質管理体制は図2に示す。

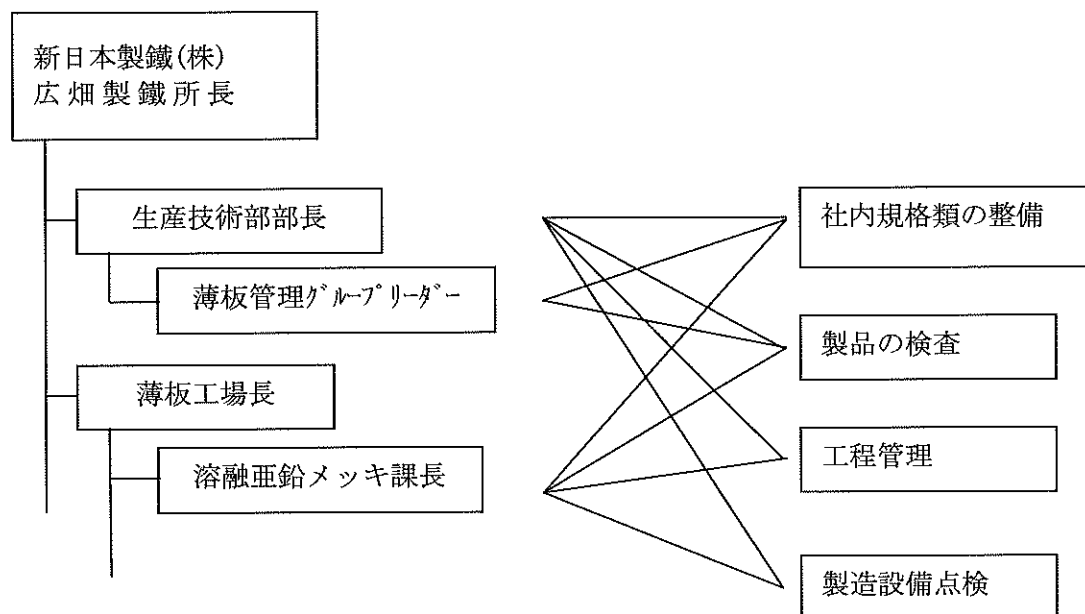


図2 品質管理体制